

一人一人に思いやりの心が育ちますように

今年度、福平小学校では「人権の花」運動に取り組みます。正門右手に看板が見えます。私たちの先輩達も取り組んできた活動なんだと思いました。それを、自分達もできることで、ワクワクしています。

この運動は、どんな目的で行われているのかを調べてみました。そうしたら、「昭和57年度から始められている活動で、学校に配布された花の種子を育て、命の大切さを学び、人に対する思いやりの気持ちを育ててもらおうということ」で続けられていることがわかりました。

さらに、人権の花である「ひまわり」の花言葉が、「あなただけを見つめる」「あなたはすばらしい」ということも出てきました。ひまわりは、太陽に向かって大きく成長もしていくことで、人権の花と選ばれていることもわかりました。

福平小学校の一人ひとりが、いつもやさしさと笑顔を忘れずに、お互いのことを思いやり、大切にしあって、みんなの心をつなぐ、きずなの花であふれる学校になるようにしていきたいと思います。花は水や肥料をあげないと枯れてしまいます。それは人も同じなので、思いやりの心をもって、人権の花である「ひまわり」を育てていきたいと思います。今日は、ありがとうございました。

令和5年5月10日

児童代表 キラリ委員会委員長 上原彩希